

和歌山大学経済学部寄付講義を、 和歌山県労働者福祉協議会より依頼を受け実施しました。

この講義は、2020年度はコロナ禍の影響で閉講となりましたが、2021年度は開講されることになりました。

講義の目標

- ① 「助け合い」「協同組合」の理念・歴史内容を知ることによって株式会社との違いについて簡潔に述べるができる。
- ② 働く人たちから見た「働き方改革」へのとりくみや考え方をすることで、自らの就職活動や社会生活に活かす。
- ③ 労働者福祉事業の実際と今後の可能性を学ぶことで、人と人とのつながりが社会を動かすエネルギーとなるのが具体的にイメージできる。

和歌山県生協連として、以下の三枠に対応しました。

【6月17日】 ※この講義は、コロナ禍の中オンラインの講義となりました。

テーマ 「協同組合の現状と役割について」-地域を支える協同の事業体-

講師 一般社団法人 日本協同組合連携機構 常務理事 青竹 豊 氏



日本の協同組合・世界の協同組合の紹介。コロナ禍の中で協同組合が地域を支えている具体例を話されました。また、各協同組合の特徴点をわかりやすく解説して頂きました。日本の協同組合の歴史や現在の社会的貢献活動について説明がありました。

【7月8日】 ※この講義は、リアルで開催されました。

テーマ 「生協の理念・ガバナンス」

講師 わかやま市民生協 副理事長 津田美法 氏



わかやま市民生協の創立から、何故生協が誕生してきたか、生協の理念・ガバナンスについて講義頂きました。また、リアル開催ということもあり、講義の中でグループワークもを行い、学生同士議論をする中、内容が深まったようでした。

【7月15日】 ※この講義は、リアルで開催されました。

テーマ「協同組合の事業と社会的役割」

講師 和歌山中央医療生協 副理事長 久保田 泰造氏(和歌山県生協連 会長理事)



協同組合原則、非営利組織、人と協同など協同組合の理念や思想がどのように発展してきたかの解説を頂きました。

また、医療生協の実例をとり、健康をつくる、平和をつくる、いのち輝く社会をつくる、これからの課題として、超高齢化社会・人口減少への対応、一人暮らしの増加と社会的孤立への対応、社会保障の充実と地域の暮らしを支える仕組みづくりの必要性など講義頂きました。